

1. 「四万十源流センター せいらんの里」

—周辺自然環境と調和のとれた、新たなニーズに対応する時代に適した施設—

本計画の対象である「四万十源流センターせいらんの里」（以下、せいらんの里とする。）は、高知県森林センターとしての役目を終え、現在、地元・津野町船戸地区の住民組織により運営されている“自然体験宿泊施設”です。

当施設は、地元食材をふんだんに使用した野菜中心の「ランチビュッフェ」が人気であり、四万十川源流域の宿泊・飲食施設として重要な役割を担っています。年間約2,000人の利用者が訪れており、現在、津野町においては、天狗高原、四万十川源流点を拠点とした津野町観光振興計画の四万十川源流点観光拠点施設として位置づけられています。

しかし、当該施設は、建築から44年が経過しており、建物の老朽化や耐震基準を満たしていない、厨房・客室・浴室等の設備が不十分かつ手狭である、段差等バリアフリーへの対応等、施設の構造そのものが社会のニーズに乗り遅れているなどの課題を抱えています。

そこで、本計画は、現在の観光ニーズ、時代に適した施設にすることで利用者の満足度向上を図るとともに新たな観光客誘致につなげるため、周辺にある山・川の豊かな自然環境や立地条件、景観を十分に活かし調和のとれた施設を計画することを目的とします。



写真 せいらんの里

【アクセス】

当該施設へのアクセスは、JR 及び車となります。

- JR：JR 土讃線須崎駅下車 → タクシー（約 50 分）
 - 車：高知自動車道須崎中央インター下車 → 県道 315 号線
→ 国道 197 号 → 県道 378 号線を経由。（約 45 分）
- ※送迎：高知高陵交通「船戸バス停」からの無料送迎あり

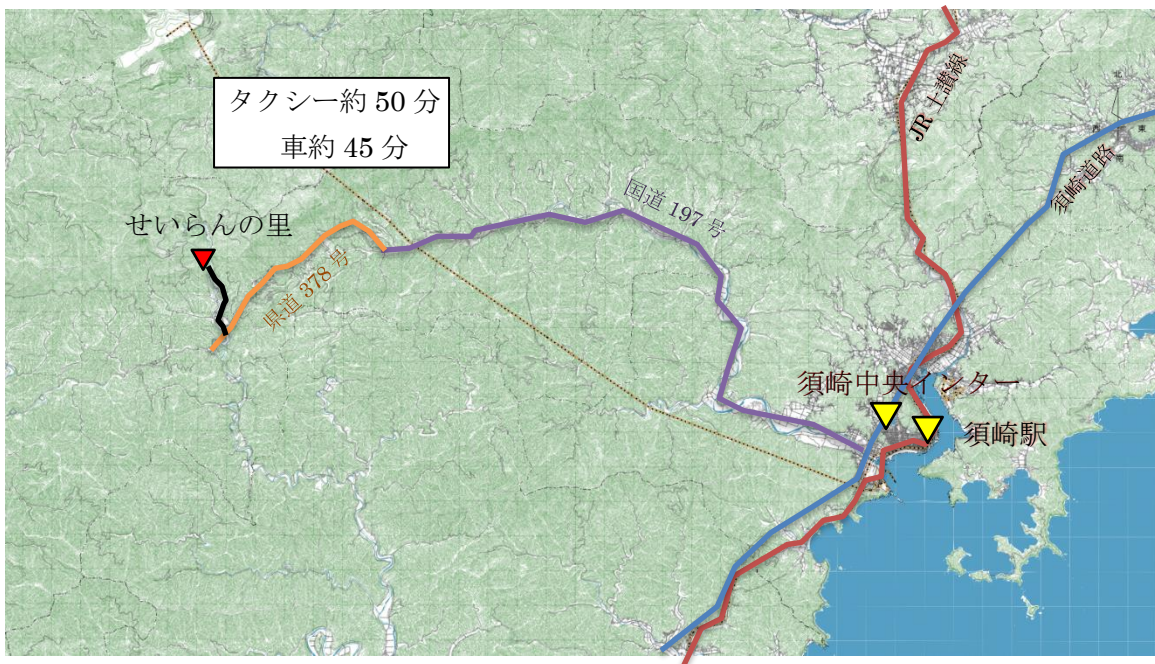


図 せいらの里へのアクセス

参照) 地理院地図

【施設概要】

現状の施設として、木造 2 階建てとなっており、「客室」、「食事処」、「大浴場」、「宴会場」、「多目的室」、「特産品売場」、「バーベキューガーデン」等を備えています。

表 現状の各室面積

諸室名称		室数	階	面積	備考
客室	8 畳和室	2 室	1	36 m ²	1～3 名 禁煙のみ
	洋室ツイン	1 室	2	18 m ²	1～2 名 禁煙のみ
	洋室 2 段ベッド	5 室	2	88 m ²	1～4 名 禁煙のみ
	20 畳和室	2 室	2	76 m ²	4～8 名 禁煙のみ
食事処（食堂・厨房・機械室等）		1 室	1	120 m ²	朝食：7:00～8:30 夕食：18:00～20:30
研修室兼食事スペース		1 室	1	35 m ²	
大浴場（男湯、女湯）		各 1 室	1	55 m ²	利用時間：17:00～24:00
宴会場、多目的室		1 室	1	84 m ²	
事務室、控室		2 室	1	35 m ²	
リネン室、倉庫		2 室	1	60 m ²	
特産品売場		-	1	-	
バーベキューガーデン		-	外	-	

図 現状 1 階平面図

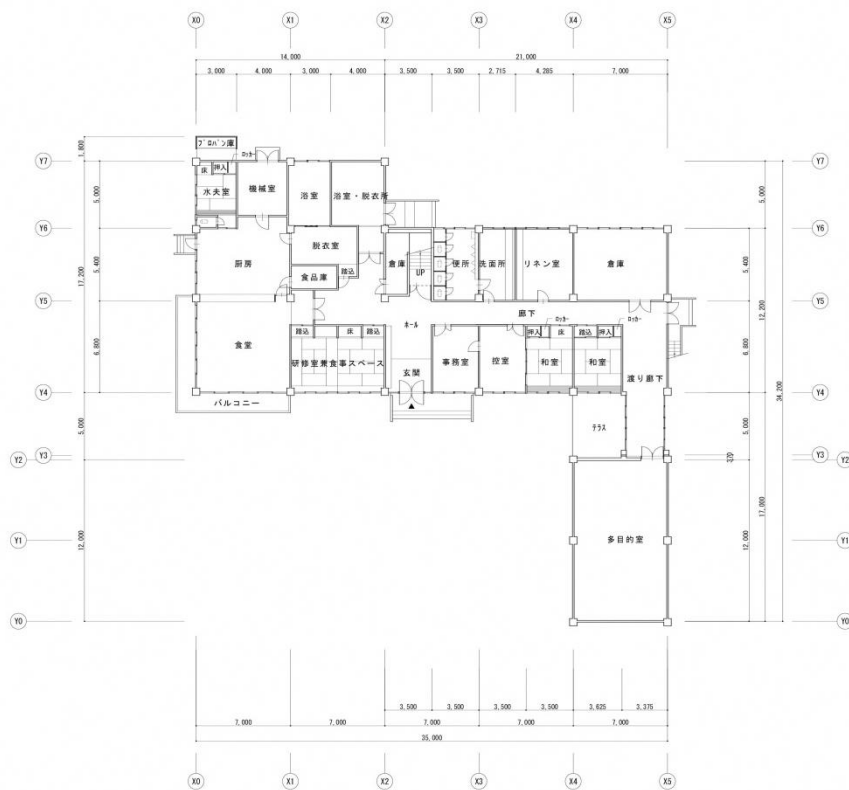


図 現状 2 階平面図

